

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 8 月 25 日 (2016.8.25)

【公表番号】特表 2015-529050 (P2015-529050A)
 【公表日】平成 27 年 10 月 1 日 (2015.10.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-061
 【出願番号】特願 2015-524416 (P2015-524416)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 92/18 (2009.01)
 H 0 4 W 8/00 (2009.01)
 H 0 4 W 48/10 (2009.01)
 H 0 4 W 74/08 (2009.01)
 H 0 4 M 3/42 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 W 92/18
 H 0 4 W 8/00 1 1 0
 H 0 4 W 48/10
 H 0 4 W 74/08
 H 0 4 M 3/42 Q
 H 0 4 M 3/42 U

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 7 月 6 日 (2016.7.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ロングタームエボリューション (LTE) ワイヤレス通信ネットワークにおいて情報を送信する方法であって、

ピアを探索しているユーザ機器 (UE) の第 1 の UE ロケーション情報を受信することと、

前記ピアのうちの少なくとも 1 つの、第 2 の UE ロケーション情報を受信することと、
 前記第 1 および第 2 の UE ロケーション情報にしたがって、前記ピアのうち前記 UE に近接したピアをマッチングすることと、

前記ピアの存在について前記 UE にアラートするためにデータ交換効率技法を使用して送信することと、ここにおいて、前記送信は、広域ネットワーク (WAN) 固有のシグナリングを含み、前記データ交換効率技法の前記使用は、前記ロケーション情報の変化のレートに基づく、

を備える、方法。

【請求項 2】

前記送信のための前記データ交換効率技法は、ページングチャネルを使用すること、および半持続的スケジューリングを使用することから成るグループから選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 WAN 固有のシグナリングは、ユーザデータグラムプロトコル (UDP) プロトコルの使用を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記データ交換効率技法は、ブロードキャストチャネルを使用することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 W A N 固有のシグナリングは、L T E 非トラフィックチャネルを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

ロングタームエボリューション (L T E) ワイヤレス通信ネットワークにおいてピア発見情報を交換する方法であって、

データ交換効率技法を使用して、ピアを探索している U E によって、第 1 のユーザ機器 (U E) ロケーション情報を 1 番目に送信することと、ここにおいて、前記 1 番目に送信することは、広域ネットワーク (W A N) 固有のシグナリングを含み、前記データ交換効率技法の前記使用は、前記ロケーション情報の変化のレートに基づく、

前記データ交換効率技法を使用して、前記ピアのうちの少なくとも 1 つの、要求されたマッチングを、2 番目に送信することと、ここにおいて、前記 2 番目に送信することは、前記広域ネットワーク (W A N) 固有のシグナリングを含む、

前記ピアの存在について前記 U E にアラートするために、前記要求に応答して、マッチングを受信すること
を備える、方法。

【請求項 7】

前記データ交換効率技法は、ランダムアクセスチャネルを使用すること、および半持続的スケジューリングを使用することから成るグループから選択される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記半持続的スケジューリングは、周期的なサウンディング参照信号 (S R S) を用いた半持続的スケジューリングを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 W A N 固有のシグナリングは、U D P プロトコルの使用を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 W A N 固有のシグナリングは、L T E 非トラフィックチャネルを含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 11】

ロングタームエボリューション (L T E) ワイヤレス通信ネットワークにおいてピア発見情報を送信するための基地局であって、

ピアを探索しているユーザ機器 (U E) の第 1 の U E ロケーション情報を受信するための手段と、

前記ピアのうちの少なくとも 1 つの、第 2 の U E ロケーション情報を受信するための手段と、

前記ピアのうち前記第 1 および第 2 の U E ロケーション情報に近接したピアをマッチングするための手段と、

前記ピアの存在について前記 U E にアラートするためにデータ交換効率技法を使用して送信するための手段と、ここにおいて、前記送信は、広域ネットワーク (W A N) 固有のシグナリングを含み、前記データ交換効率技法の前記使用は、前記ロケーション情報の変化のレートに基づく、

を備える、基地局。

【請求項 12】

前記送信のための前記データ交換効率技法は、ページングチャネルを使用すること、および半持続的スケジューリングを使用することから成るグループから選択される、請求項 11 に記載の基地局。

【請求項 13】

ロングタームエボリューション（LTE）ワイヤレス通信ネットワークにおいてピア発見情報を交換するためのユーザ機器（UE）であって、

データ交換効率技法を使用して、ピアを探索している前記UEによって、第1のUEロケーション情報を1番目に送信するための手段と、ここにおいて、前記1番目に送信することは、広域ネットワーク（WAN）固有のシグナリングを含み、前記データ交換効率技法の前記使用は、前記ロケーション情報の変化のレートに基づく、

前記データ交換効率技法を使用して、前記ピアのうちの少なくとも1つの、要求されたマッチングを、2番目に送信するための手段と、ここにおいて、前記2番目に送信することは、前記WAN固有のシグナリングを含む、

前記ピアの存在について前記UEにアラートするために、前記要求に応答して、マッチングを受信するための手段と

を備える、UE。

【請求項 14】

前記1番目に送信することおよび前記2番目に送信することのための前記データ交換効率技法は、ランダムアクセスチャネルを使用すること、および半持続的スケジューリングを使用することから成るグループから選択される、請求項13に記載のUE。

【請求項 15】

実行されたときに請求項1～請求項10のいずれか一項に記載の方法を少なくとも1つのコンピュータに実行させる、実行可能な命令を備えるコンピュータプログラム。